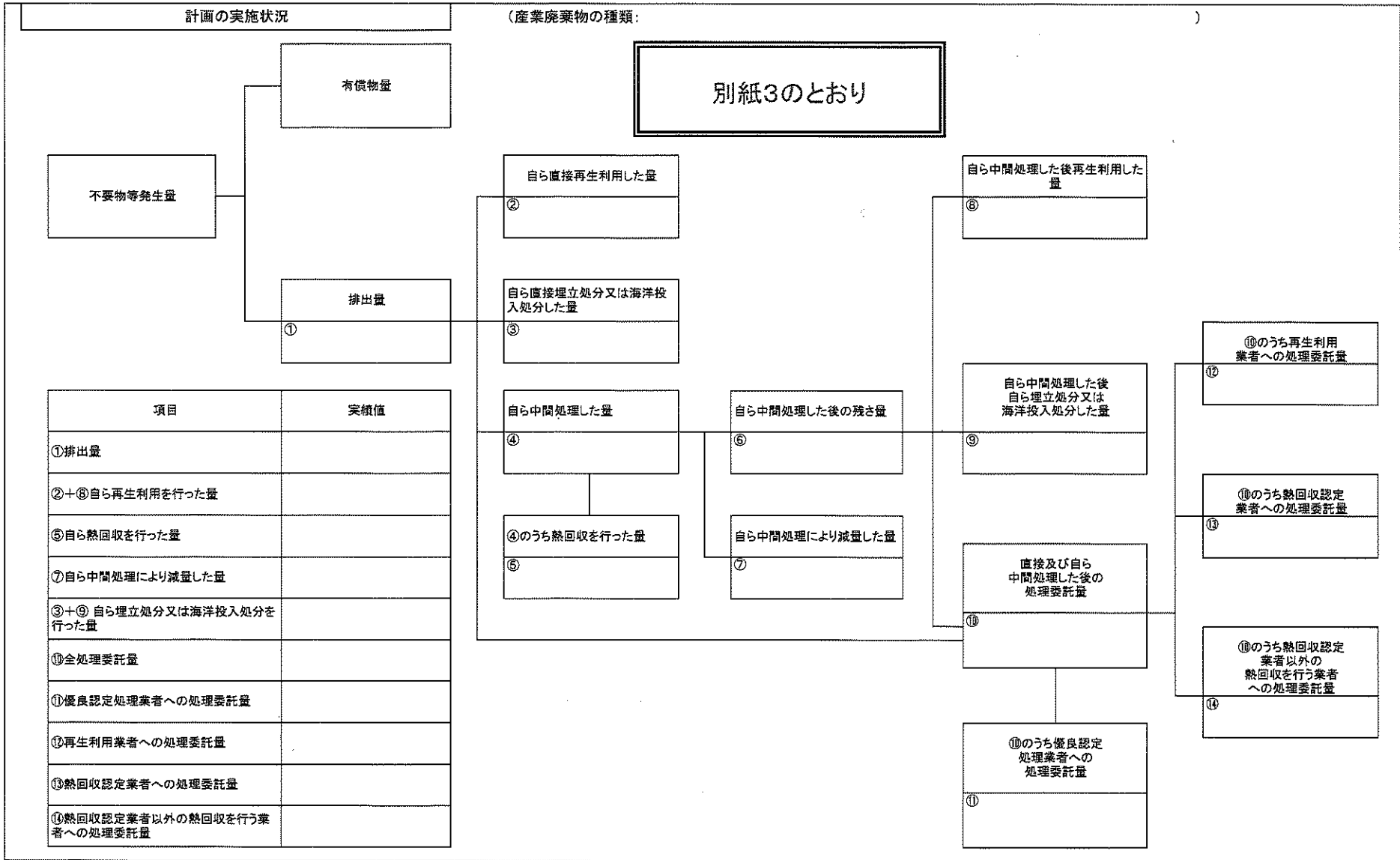


収 受	
令和	- 3. 6. 30
環境第 環環第	471-35 号
吹田市	

様式第二号の九（第八条の四の六関係）（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
		令和3年6月30日	
吹田市長 様			
提出者			
住所 大阪市北区中之島3-6-3 2ダイビル本館			
氏名 株式会社大林組 大阪本店			
取締役副社長執行役員大阪本店長 村田俊彦			
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 06-6456-7154			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和2年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	株式会社 大林組大阪本店 (吹田市管轄内事業場)		
事業場の所在地	吹田市管轄区域内		
事業の種類	06 (総合工事業)		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2670.000 t	全処理委託量	2670.000 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.000 t	優良認定処理業者への処理委託量	230.000 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.000 t	再生利用業者への処理委託量	2660.000 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.000 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	0.000 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙3(産業廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画実施状況報告書)  
 (令和2年度実績)

単位:トン/年

産業廃棄物の種類		計 画 の 実 施 状 況																	
コード	名 称	①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤④のうち 熱回収を 行った量 (自ら熱回 収を行った 量)	⑥自ら中間 処理した後 の残存量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間 処理した後 自ら埋立処 分又は海洋 投入処分し た量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量 (全処理委 託量)	委託先による区分				⑫+⑬ 自ら再生利 用を行った 量	⑭+⑮ 自ら埋立処 分又は海洋 投入処分を 行った量		
		⑪⑯のうち 優良認定 処理業者へ の処理委託 量(優良認定 処理業者へ の処理委託 量)	⑫⑰のうち 再生利用 業者への処 理委託量 (再生利用 業者への処 理委託量)	⑬⑱のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量 (熱回収認定 業者への処 理委託量)	⑭⑲のうち 熱回収認定 業者以外の 業者への処 理委託量 (熱回収認定 業者以外の 業者への処 理委託量)														
100	燃え殻							0.000										0.000	0.000
200	汚泥							0.000										0.000	0.000
300	廃油							0.000										0.000	0.000
400	廃酸							0.000										0.000	0.000
5	珪酸カリ							0.000										0.000	0.000
600	廃プラスチック							0.000										0.000	0.000
700	紙くず							0.000										0.000	0.000
800	木くず							0.000										0.000	0.000
900	繊維くず							0.000										0.000	0.000
1000	動物性残渣							0.000										0.000	0.000
1100	ゴムくず							0.000										0.000	0.000
1200	金属くず							0.000										0.000	0.000
1300	ガラスくず・コンク リートくず及び陶 磁器くず	3.600						0.000			3.600	3.600	0.000	0.000	0.000			0.000	0.000
1400	がさい							0.000										0.000	0.000
1500	がれき類	317.400						0.000			317.400	47.400	317.400	0.000	0.000			0.000	0.000
1600	動物の糞尿							0.000										0.000	0.000
1700	動物の死体							0.000										0.000	0.000
1800	ばいじん							0.000										0.000	0.000
2020	建設系混合廃棄 物 (管理型)	33.125						0.000			33.125	33.125	33.125					0.000	0.000
								0.000										0.000	0.000
								0.000										0.000	0.000
								0.000										0.000	0.000
								0.000										0.000	0.000
								0.000										0.000	0.000
合計		354.125	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	354.125	84.125	350.525	0.000	0.000			0.000	0.000

※上記に分類できない産業廃棄物がある等に限り、空欄へその産業廃棄物のコード及び具体的な名称を記入してください。

※数量に関しては、小数点以下3桁表示として記入してください。

様式第二号の九の第2面に記載された産業廃棄物の発生から処理までのフロー(①~⑭)に示す量を表に記入し、